

平成の大合併で生まれた新知名・珍知名

全国の市町村が 3300 から 1700 に半減した「平成の大合併」。結果、珍地名、一気に増えたひらがな地名、合併までの数々の道のり…事情を知ると命名の苦勞が感じられて味わいがある。まさにドラマを追っているようで大変興味深い。たかが地名と言うなかれ。

| | |
|-----------|---|
| さいたま市 | <p>浦和市、大宮市、与野市が合併して成立。その後岩槻市が編入。本当は「埼玉市」にしようとしたが、行田市が「埼玉」という地名の発祥の地は行田市内の旧埼玉村であるとして難色を示し、結果ひらがなで「さいたま市」に。県庁所在地でひらがな名称はさいたま市だけ。埼玉の百万都市にしては安易過ぎると批判も多く、笑いのネタにもされた。その後のひらがな地名の元凶とも言われている。</p> <p>「さいたま市」の「さ」は、2画目と3画目が繋がっている「さ」で ささ 書かないとダメらしい。なぜか「さ」へのこだわりが。 普通手書きでは2画目と3画目は離して書くが…。</p> |
| 西東京市 | <p>東京都の多摩地域東部にある市。保谷市と田無市が合併して成立。人口約20万人。名称の中に方角が2つ含まれる全国唯一の市。市役所は「東京都西東京市南町」と方角だらけの住所表記。ここも安易過ぎるとの批判が多かった。</p> |
| 匝瑳市（そうさし） | <p>千葉県北東部にある人口約4万人の市。八日市場市と匝瑳郡野栄町が合併して誕生。郡名そのまま。一発で読める人は少ないと思うが、よく平仮名にしなかったと、地名の研究者から評価が高い。</p> |
| 宍粟市（しろうし） | <p>兵庫県中西部に位置する市。宍粟郡の4町（山崎町、一宮町、波賀町、千種町）が合併して誕生。宍粟市も難読なのに平仮名にならずによくがんばった！</p> |
| 山県市（やまがた） | <p>岐阜県山県郡の高富町、伊自良村、美山町が合併して誕生。この合併で山県郡の名は消えたが、郡域はそのまま山県市として継承された。山形市と読みが被って紛らわしい。</p> |
| さぬき市 | <p>香川県津田町、大川町、志度町、寒川町、長尾町の5町が合併して誕生。「讃岐うどん」の本場という訳ではない。「たぬき市」にみえる。</p> |
| 南アルプス市 | <p>山梨県西部に位置する市。中巨摩郡檜形町・若草町・白根町・甲西町・八田村・芦安村が合併して発足。南アルプス（赤石山脈）は市の西部を縦断している。国内第2位の標高をもつ北岳（3,193m）がある。</p> |
| いなべ市 | <p>三重県の最北端に位置する市。員弁郡北勢町・員弁町・大安町・藤原町の4町が合併し誕生。「員弁」（いなべ）の読み方が難解であることから平仮名表記となった。</p> |
| あわら市 | <p>福井県の北端に位置。坂井郡芦原町、金津町が合併してあわら市に。芦原温泉で有名なので、「芦原市」の方がいいと思うが。胸が「あらわ」に・・・とけしからんイメージが浮かびそう。</p> |

| | |
|---------|---|
| 四国中央市 | 川之江市・伊予三島市・宇摩郡新宮村・宇摩郡土居町が合併して誕生。愛媛県の東端に位置し徳島県・香川県・高知県と隣接しているが四国の中央にあるわけではないのによく付けたもの。 |
| 中央市 | 中巨摩郡玉穂町・田富町・東八代郡豊富村が合併して発足。山梨県中部に位置し日本列島のほぼ中央に位置するという意味も込められているというが、それにしても分不相応な名前。せめて山梨中央市。 |
| さくら市 | 栃木県の中部に位置する。塩谷郡氏家町・喜連川町が新設合併して誕生。市内に桜の名所が多くある。千葉の佐倉市と間違われないうために便宜的に「氏家」などの表現を未だに使う人もいる。 |
| つがる市 | 「津軽市」の方が格好いいと思うが、なんでひらがなにしたのか。 |
| ひたちなか市 | 勝田市と那珂湊市が合併してできたので、「常陸那珂」市なのだが、ほとんどの人は「常陸」の「中部」と勘違いするだろう。 |
| かすみがうら市 | 「霞ヶ浦市」の方がいいと思うが。平仮名で書くと長い、冗長。 |
| つくばみらい市 | 筑波郡伊奈町と谷和原村が合併・市制施行し発足。「みらい」は、元々水海道市(みつかいどうし)の「み」と谷和原村(やわらむら)の「ら」と伊奈町(いなまち)の「い」をとって「みらい」としたが、水海道が合併から抜けて「み」がなくなってしまった。それなのに「みらい」はそのまま。全く由来もなにもない。住民は気に入っているが、他地区はみんな怒っている。この話題が出ると必ず喧嘩になるという。つくば市とはなんら関係はなく、つくば市民も困惑している。 |
| おいらせ市 | 流域を流れる奥入瀬川に由来するらしい。ならば漢字の方がいい。これじゃあ「おしらせ」に見えてしまう。 |
| みどり市 | 群馬県新田郡笠懸町、山田郡大間々町、勢多郡東村が合併し、群馬県12番目の市として誕生。この合併により新田郡と山田郡は消滅した。群馬県初のひらがなの市。 |
| 伊豆市 | 伊豆半島中北部の4町(修善寺町・土肥町・天城湯ヶ島町・中伊豆町)が合併し誕生。当初知名度のある修善寺市にする方向だったが、当の修善寺町長が「他の町に悪い」と遠慮したらしい。 |
| 伊豆の国市 | 伊豆半島北部に位置する。伊豆長岡町、大仁町、韮山町が合併誕生。先に「伊豆市」を取られちゃった。おかげで後発の市が名前を付けるのはたいへん。おかしい地名になり、韮山市とか北条市とかでよかったのにと、地元民はうんざりしている。 |

幻の珍地名

運よく？地名とならなかった地名

| | |
|-----------|--|
| 南セントレア市 | 愛知県知多郡美浜町と南知多町の合併によって誕生するはずだったが、住民から「変な名前になる位なら合併しない方が良い」という声が多く結局、両町の合併は頓挫に終わった。「セントレア」とは、2005年2月17日に開港予定だった中部国際空港の愛称。central（セントラル）と air（エア）から作った造語。 |
| 中央アルプス市 | 長野県駒ヶ根市と上伊那郡の2町村(飯島町、中川村)が合併して誕生する予定だったが、この地名が市民の反感を買い、合併自体が破談してしまった。 |
| あっぷる市 | 青森県西部のリンゴ産地・板柳町は新市名に「あっぷる市」を強く推す。ところが合併相手の鶴田町は「市庁舎の場所は板柳町に譲ったのだから、名前には現町名のイメージを残したい」と譲らない。結局合併の延期を決め、合併協議会は解散した。 |
| 湯陶里市（ゆとり） | 佐賀県武雄市と山内町、嬉野町、塩田町の1市3町が合併してできるはずだった市。温泉と、陶器の郷をイメージしたそうですが、ここでも相当な反対運動が起き、武雄市が離脱。 |
| 太平洋市 | 千葉県山武郡成東町・山武町・松尾町と蓮沼村が合併してできる新市の名称にするつもりだったが、全国から多くの批判が寄せられたため、住民アンケートで結局郡の名前である山武市（さんむ・し）に。 |
| 聖徳太市 | 奈良県の斑鳩・安堵・三郷・平群・王寺・上牧・河合の各町が合併し新設される市の名称の一案。「西和市」で決定した。 |